

「税についての作文」

祝 全国法人会総合連合会長賞及び藤里町長賞受賞



11月30日、藤里中学校において、全国法人会総合連合会長賞に選ばれた市川翔大さんに表彰状が授与されました。また、12月17日には、藤里町役場において、藤里町長賞が授与されました。

作品紹介

『税が息づいて町』

世界自然遺産である白神山地のふもと
の町で僕は生まれ育ちました。全校登山
では、生き生きとしたブナ林や澄んだ沢
水、虫や鳥など、たくさん自然の中で
生活していることの幸せ、豊かさを実感
することができます。町には、商業施設
や遊園地などの娯楽施設はないので、時々
はそういった施設がある町を羨ましくも
思います。それでも、建築物を創り上げ
る何百倍もの時間をかけ、継続的で、丁
寧な手入れで守られてきた自然は、僕た
ちの誇りです。保護・保全に積極的に関
わり、遺産としての価値を維持しようと、
町の人みんなが愛着をもって、大切に守っ
ています。でも、気持ちだけでは守るに
も限界があります。この緑あふれるふる
さととは、どのように守られているのだろ
うかと調べてみて、環境を守るための税
があることを知りました。

これまでも、生活の中で「税のおかげ」
を実感することはたくさんありました。
将来、プロ野球選手を目指している僕に
とって、夜でもランニングや素振りがで
きる舗装路や街灯はありがたいです。そ
れに、学校や机、教科書、病院や救急医
療、消防に、ゴミの収集……挙げた
らざりありません。それなのに、自然
保護にも使われていたなんて驚きです。
いや、緑があふれている町が僕にとって
当たり前すぎて、「守ること」について、
あまり意識していなかったのかもしれない
せん。

当たり前すぎると、大切なものが見えな
くなる……。もしかすると、意識してい
ないだけで、僕が思うより、もっともつ
とたくさん税がこの町に、生活に生き
ているのかもしれないと思いました。た
だ自然と同じで、税があまりに身近すぎ
て、しかも、その存在を主張することな
く、常に控えめに僕らの生活を支え、潤
しているために、その大切さ、ありがた
さを意識していないだけではないでしょ
うか。この町を知らない人、僕の知らな
い人までもが、この町を支えてくれてい
ると思うだけで、温かなつながりを感じ
ます。

小さいけれど、田舎だけれど、僕の太
好きなこの町を支えてくれる人たちに、
まだ収入のない僕は何ができるのかを考
えてみました。まずは、みんなで支え合
えば、今よりもっとよい社会になると
いうことを学ぶこと。そのために、一人
一人が納める税の力は小さくても、みん
なの力が集まれば、たくさん人の笑顔
と生活を守る大きな力になるのだとい
うこと、その思いを形にできるような立
派な大人に成長する努力をすること。そ
して、その思いをつなげていくこと……。

僕は白神山地のふもとの町で生まれま
した。父もそうです。そして、母の生ま
れは鹿児島県屋久島町。「税は、何千年
も昔からの美しい自然を守ってくれてい
る。ありがたいね」と母は言います。こ
れからも、僕はみんなの思いが息づくこ
の町で暮らしていきます。大好きなこの
自然と、僕らの生活を支えてくれていて
る人たちの思いに感謝しながら……。

《今年の漢字》「密」

はぎやウェブサイトを通じた公募で決まる「今年の漢字」に「密」が選ばれました。3「密」という言葉が提唱され、生活・行動様式が密にならないよう意識したことや、大切な人との関係が「密」接になり、人とのつながりの大切さを再認識する機会になったことが選出の理由となりました。

みんなのわだい